

福知山公立大学 総合型選抜対策

地域経営学部 総合型選抜Ⅰ レジюме

注：以下は、2025 年度に実施された地域経営学部 総合型選抜について解説したものととなります。

1. 福知山公立大学 総合型選抜Ⅰ 概要

■ 募集・出願 - 募集人員：地域経営学科 6 名 - 出願期間：9/1（月）～9/8（月）消印有効 - 入学検定料：17,000 円 専願制（合格時入学確約） ■ 試験日程 1 次選考（書類）：合格発表 9/25（木） ※志願者が募集の概ね 3 倍超の場合のみ実施 2 次選考（試験）：10/11（土） - 合格発表：11/1（土）	■ 共通テスト 不要（地域経営学部 総合型選抜Ⅰ） ■ 出願書類 ①志願票（Web 出願後印刷） ②調査書（出身学校長作成・厳封） ③自己推薦書（本学所定様式）
--	---

2. 選抜方法・配点（合計 300 点満点）

選抜方法	評価の内容（要約）	配点
出願書類 （調査書・自己推薦書）	知識・技能／表現力／協働する態度	100 点
面接（個別）	思考力・判断力／表現力／協働する態度	100 点
プレゼンテーション（個別）	思考力・判断力／表現力	100 点
	合計	300 点

3. アドミッション・ポリシーのポイント

大学が求める学生像のキーワード

- 「地域社会の発展に貢献する意欲」と「主体的に学び考える力」
- 「学力の 3 要素」：知識・技能／思考力・判断力／表現力＋協働する態度
- 活動実績の「凄さ」よりも、経験から何を不得どう成長したかを重視
- 「何をしたか」ではなく「なぜそれをし、そこから何を学んだか」の言語化が鍵

4. 自己推薦書のポイント

▶ 書くべきこと - 自分が果たした役割と、そこで考えたこと - 活動をとおして身についた力・得た気づき - 大学で学びたいこと・将来の展望との接続	▶ 書かないこと - 活動内容の詳細説明（概要のみでよい） - 外部からの評価・受賞実績のアピールのみ 「やったこと」の羅列（→「得たこと」を書く）
---	---

福知山公立大学 総合型選抜対策

地域経営学部 総合型選抜Ⅰ レジюме

5. プレゼンテーション対策 — 当日の流れと準備

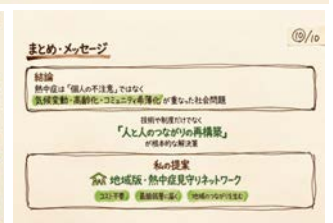
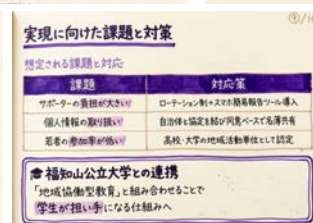
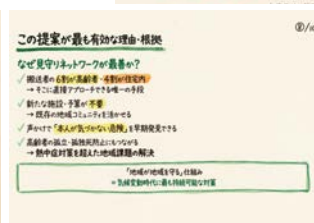
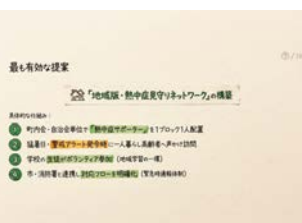
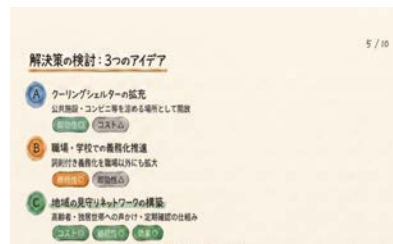
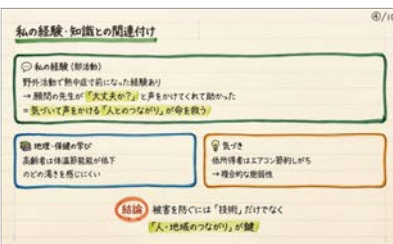
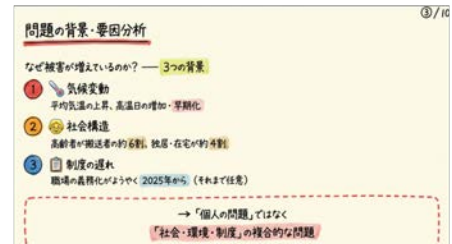
■ 当日タイムライン（第2次選考）

9:00 入室可能 ～ 10:00 プレゼン準備（90 分間 資料読解）→画用紙作成

12:45 着席（遅刻厳禁）～ 13:00 発表・質疑（5 分以内+質疑（個別）） 同日：個別面接（10 分程度）

■ 解答例 画用紙 10 枚の構成（令和 8 年度・熱中症対策テーマ）

① 表紙・問いの設定 熱中症から地域を守る なぜ減らないのか？	② 現状の整理 搬送者 97,578 人 (過去最多)	③ 背景・要因分析 気候変動／高齢化 制度の遅れ	④ 経験・知識との 関連付け 部活の経験 地理・保健の学び	⑤ 3つの解決アイデア A:冷房施設 B:義務化 C:見守り
⑥ アイデア比較表 即効性・コスト・継続 性・効果で比較	⑦ 最も有効な提案 地域版 見守りネットワーク	⑧ 提案の根拠 6割高齢者 4割住宅内→直 接届く	⑨ 課題と対策 大学連携で 学生が担い手に	⑩ まとめ・メッセージ 問い→答えの 一貫したストーリー



○ 画用紙作成の POINT

- 「全体で 1 つのストーリー」：①問い設定→⑥比較→⑦提案→⑩まとめの一貫した流れ
- 「見やすさ優先」：文字は大きく・色は使すぎない（水性マーカー 8 色を効果的に）
- 「根拠の明示」：資料の数値を引用しながら、なぜその提案が最善かを示す

福知山公立大学 総合型選抜対策

地域経営学部 総合型選抜Ⅰ レジューメ

6. 口頭発表（5分）の組み立て方

時間配分	ねらい	指導ポイント
①つかみ（30秒）	数字で深刻さを示す	自分の言葉で。
②背景（60秒）	経験・知識と関連付ける	自分の解釈を語る。資料の読み上げ NG
③比較（90秒）	3案を並べ論理性を見せる	比較表を指して「だからCが最善」と導く
④提案（90秒）	データ根拠＋具体性	誰が・何を・いつ、まで明示する
⑤締め（30秒）	課題＋入学への意欲	「ここで学びたい」で当事者性を示す

よくある失敗と改善ポイント

- ・【NG】いきなり結論「私の提案は〇〇です」 → 【OK】まず数字で深刻さを示してからつなぐ
- ・【NG】画用紙をそのまま読み上げる → 【OK】画用紙は「見せるもの」、口頭で根拠を補足する
- ・【NG】「A,B,C案を考えました。C案にします」 → 【OK】比較表を使い「なぜCか」を論証する
- ・【NG】社会問題として客観的に語るだけ → 【OK】「自分も地域の一員として」と当事者意識を示す
- ・

7. 受験 取り組みスケジュール

時期	取り組むこと	チェックポイント
～7月	アドミッション・ポリシー、自己理解（自己分析）	「何を学んだか」が言語化できているか
8月	自己推薦書の作成・添削	活動の「プロセスと成長」が書けているか
9/1～8	出願書類提出（Web出願）	書類に不備がないか・消印確認
9月中	プレゼン練習（資料読解トレーニング）	思考フロー4ステップが使えているか
10月直前	口頭発表5分の通し練習	当事者意識・比較プロセスが伝わるか